



2020年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月7日

上場会社名 シリコンスタジオ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3907 URL https://www.siliconstudio.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)梶谷 眞一郎
 問合せ先責任者 (役職名)コーポレートサービス本部長 (氏名)高野 賢一 (TEL)03(5488)7070
 四半期報告書提出予定日 2020年7月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年11月期第2四半期の連結業績(2019年12月1日～2020年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年11月期第2四半期	2,096	△9.4	29	△11.6	33	△16.9	△7	—
2019年11月期第2四半期	2,312	△7.6	33	—	40	—	46	—

(注) 包括利益 2020年11月期第2四半期 △7百万円 (—%) 2019年11月期第2四半期 45百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年11月期第2四半期	△2.63	—
2019年11月期第2四半期	16.22	16.12

(注) 2020年11月期第2四半期においては、1株当たり四半期純損失金額であるため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年11月期第2四半期	2,342	1,510	64.1
2019年11月期	2,402	1,514	62.6

(参考) 自己資本 2020年11月期第2四半期 1,500百万円 2019年11月期 1,505百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年11月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年11月期	—	0.00	—	—	—
2020年11月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年11月期の連結業績予想(2019年12月1日～2020年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,574	△0.4	160	252.5	160	165.1	160	1.2	55.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年11月期2Q	2,953,200株	2019年11月期	2,948,200株
② 期末自己株式数	2020年11月期2Q	30,040株	2019年11月期	30,040株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年11月期2Q	2,896,258株	2019年11月期2Q	2,858,508株

(注) 株式給付信託（J - ESOP）の信託財産として資産管理サービス信託銀行株式会社が保有する当社株式25,000株は、上記自己株式に含めておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業務見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大に伴う経済活動の停止等の影響により、急速な悪化が続いており、極めて厳しい状況にあります。

このような環境の下、当社においては、従業員及びそのご家族の健康に配慮すべく、時差出勤やテレワークを導入し事態の長期化に備えるとともに、当社が強みを持つコンピュータグラフィックス関連ビジネスに多角的に取り組んでまいりました。

開発推進・支援事業においては、引き合いの多い機械学習向け教師データCG制作ツールの機能改善や、当社ミドルウェアの新型家庭用ゲーム機への対応準備に取り組んでまいりました。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大により、見本市への出展取り止めや訪問営業活動の自粛等の影響により受注活動に支障が生じております。

人材事業においては、緊急事態宣言以後、採用選考の長期化等の影響を受けているものの、人材派遣、有料職業紹介サービスともに堅調に推移しております。

前年度より継続中の他社と協業しているコンテンツタイトルにつきまして若干の利益が発生しており、「その他」のセグメントに計上しております。

また、当社は「with コロナ」時代に対応すべく、2020年6月より在宅勤務制度を本格導入することといたしました。これに伴い、事務所レイアウトの再配置を実施し、賃借している事務所の一部を2020年10月に解約することとし、解約の決定に伴い、減損損失33百万円を特別損失に計上いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高が2,096百万円（前年同期比9.4%減）、営業利益は29百万円（同11.6%減）、経常利益は33百万円（同16.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失は7百万円（同53百万円減）となりました。

報告セグメントの状況は、以下のとおりであります。

(a) 開発推進・支援事業

当第2四半期連結累計期間におけるミドルウェアライセンス販売の売上高は、新型コロナウイルス感染症等の影響により、お客様による評価に時間を要していることから減収となりました。

受託開発の売上高は、前年同期において大型案件の検収があったことの影響等により減収となりました。

ネットワーク構築・運用等のサービスを提供するソリューション売上は、運用タイトル数の減少等により減収となりました。

以上の結果、売上高は1,133百万円（前年同期比14.8%減）、セグメント利益は63百万円（同32.4%減）となりました。

(b) 人材事業

当第2四半期連結累計期間における派遣先で稼働した一般派遣労働者数は延べ1,436名、有料職業紹介の成約実績数は167名となりました。

以上の結果、売上高は914百万円（前年同期比0.6%増）、セグメント利益は204百万円（同9.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて60百万円減少（前連結会計年度末比2.5%減）し、2,342百万円となりました。

これは主に、仕掛品の増加118百万円があったものの、売掛金の減少119百万円、無形固定資産の減少37百万円、有形固定資産の減少33百万円等があったことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて55百万円減少（同6.3%減）し、832百万円となりました。

これは主に、長期借入金の増加44百万円があったものの、未払消費税等の減少52百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少33百万円、未払費用の減少21百万円等があったことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて4百万円減少(同0.3%減)し、1,510百万円となりました。

これは主に、新株予約権の行使による資本金及び資本剰余金の増加3百万円等があったものの、利益剰余金の減少7百万円があったことによるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末比1.5ポイント増加し、64.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年11月期の連結業績予想につきましては、2020年1月15日に公表いたしました「2019年11月期決算短信」の内容から変更はございません。

なお、当四半期の決算説明会は、2020年7月17日に開催予定です。その模様および説明内容(動画)につきましては、当日使用する資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	903	923
売掛金	670	551
仕掛品	111	230
前払費用	89	82
その他	19	16
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	1,793	1,803
固定資産		
有形固定資産	148	114
無形固定資産		
ソフトウェア	57	45
ソフトウェア仮勘定	47	21
その他	12	13
無形固定資産合計	117	79
投資その他の資産	342	343
固定資産合計	608	538
資産合計	2,402	2,342

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	64	56
短期借入金	107	112
1年内返済予定の長期借入金	110	77
未払金	127	111
未払費用	158	137
前受金	44	50
預り金	50	58
未払法人税等	16	14
未払消費税等	99	47
資産除去債務	—	10
受注損失引当金	30	39
その他	0	0
流動負債合計	811	716
固定負債		
長期借入金	44	88
資産除去債務	32	26
固定負債合計	76	115
負債合計	887	832
純資産の部		
株主資本		
資本金	453	455
資本剰余金	2,201	2,203
利益剰余金	△910	△918
自己株式	△236	△236
株主資本合計	1,507	1,503
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2	△2
その他の包括利益累計額合計	△2	△2
新株予約権	9	9
純資産合計	1,514	1,510
負債純資産合計	2,402	2,342

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年12月1日 至2019年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年12月1日 至2020年5月31日)
売上高	2,312	2,096
売上原価	1,542	1,337
売上総利益	770	758
販売費及び一般管理費	736	728
営業利益	33	29
営業外収益		
受取利息	0	0
持分法による投資利益	15	7
その他	1	0
営業外収益合計	16	7
営業外費用		
支払利息	2	1
為替差損	4	0
その他	3	2
営業外費用合計	10	4
経常利益	40	33
特別利益		
投資有価証券売却益	2	—
関係会社株式売却益	6	—
特別利益合計	8	—
特別損失		
減損損失	—	※ 33
特別損失合計	—	33
税金等調整前四半期純利益	48	0
法人税、住民税及び事業税	2	1
法人税等調整額	△0	5
法人税等合計	2	7
四半期純利益又は四半期純損失(△)	46	△7
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	46	△7

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	46	△7
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
その他の包括利益合計	△0	△0
四半期包括利益	45	△7
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	45	△7

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

当第2四半期連結会計期間において、賃借している事務所の一部の解約を決定致しました。

併せて、不動産賃貸借契約に伴う原状回復費用として計上していた資産除去債務について、新たな情報を入手したことから、より精緻な見積りが可能となったため、見積額の変更をしております。

この見積りの変更による増加額4百万円を変更前の資産除去債務残高に加算しており、変更に伴って計上した有形固定資産については、全額減損損失を計上しております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純利益は4百万円減少しております。

(四半期連結損益計算書関係)

※減損損失

当社は「with コロナ」時代に対応すべく、2020年6月より在宅勤務制度を本格導入することといたしました。これに伴い、事務所レイアウトの再配置を実施し、賃借している事務所の一部を2020年10月に解約することとし、解約の決定に伴い、減損損失33百万円を特別損失に計上いたしました。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	開発推進・支援	人材	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,330	908	2,239	73	2,312
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	7	7	—	7
計	1,330	915	2,246	73	2,319
セグメント利益	93	186	280	6	287

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンテンツ事業等であります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	280
全社費用(注)	△253
「その他」の区分の利益	6
棚卸資産の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業利益	33

(注) 全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	開発推進・支援	人材	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,133	914	2,047	48	2,096
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	4	4	—	4
計	1,133	919	2,052	48	2,101
セグメント利益	63	204	267	2	270

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンテンツ事業等であります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	267
全社費用(注)	△241
「その他」の区分の利益	2
棚卸資産の調整額等	0
四半期連結損益計算書の営業利益	29

(注) 全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

各報告セグメントに配分していない全社資産において、事務所の一部の解約を決定したことによる減損損失を33百万円計上しております。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、2020年6月16日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき自己株式を取得すること及びその具体的な取得方法について決議いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を可能とするため。

2. 取得する株式の種類：当社普通株式

3. 取得する株式の数：60,000株（上限）

4. 株式取得価額の総額：85百万円（上限）

5. 自己株式取得日：2020年6月17日

6. 取得方法：東京証券取引所の自己株式立会外買付取引（ToSTNeT-3）において買付

（ご参考）2020年5月31日時点の自己株式の保有状況

発行済株式総数（自己株式を除く） 2,923,160株

自己株式数 30,040株

(コミットメントライン契約締結)

当社は、2020年6月16日開催の取締役会において、コミットメントライン契約を締結することを決議し、以下のとおり締結しております。

1. コミットメントライン契約締結の目的

当社は、運転資金の確保および財政基盤の安定性向上のために機動的かつ安定的な資金調達手段を確保することを目的として、コミットメントライン契約を締結いたしました。

2. コミットメントライン契約の概要

契約締結先：株式会社三菱UFJ銀行

契約限度額：1,000百万円

契約締結日：2020年6月16日

契約期間：2020年6月19日～2021年6月18日

資金使途：運転資金

担保の有無：無担保・無保証

（実行した借入の内容）

借入実行金額：100百万円

借入実行日：2020年6月19日

契約締結先：株式会社みずほ銀行

契約限度額：500百万円

契約締結日：2020年6月29日

契約期間：2020年6月30日～2021年6月30日

資金使途：運転資金

担保の有無：無担保・無保証